

筑紫野市入札心得書（一般競争入札）

1. 入札に参加する者は、入札について不正な協議をしてはならない。
2. 入札に参加する者は、入札辞退届を提出することにより入札を辞退することができる。
3. 入札者は、入札条件において入札保証金「要」と明示されたときは、自己の見積もった金額の100分の5以上の入札保証金又は担保を納めなければならない。
4. 落札決定に当たっては、入札書に記載された金額に100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）をもって落札価格とするので、入札者は、消費税及び地方消費税に係る課税事業者であるか免税事業者であるかを問わず、見積もった契約希望金額の110分の100に相当する金額を入札書に記載すること。
5. 入札書に課税事業者又は免税事業者の該当する項目を丸で囲むこと。
6. 入札者はすでに提出した入札書はいかなる理由があってもこれを引換え変更し、又は取消することができない。
7. 入札が次の各号の一に該当する場合は、その者の入札を無効とする。
 - (1) 同一入札者が二以上の入札をしたとき。
 - (2) 談合その他の不正行為によってされたと認められる入札
 - (3) 金額の記載がないとき、又は重複記載もしくは誤字脱字があつて必要事項が確認できないとき。
 - (4) 入札書に入札者の記名押印がなく、入札者が判明できないとき。
 - (5) 入札保証金が不足するとき。
 - (6) 入札書に記載された金額に100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）が予定価格を上回ったとき。
 - (7) 入札書に記載された金額に100分の10に相当する額を加算した金額（当該金額に1円未満の端数があるときは、その端数を切り捨てた金額）が最低制限価格を下回ったとき。
8. 落札者は、落札決定後当方所定の契約書により、7日以内に契約の締結手続きをしなければならない。なお、正当な理由なく当該期間内に契約手続きをしない場合は、契約締結に関する権利を破棄したものとみなすことがある。
9. 落札者は、契約金額の100分の10以上の契約保証金又はこれに代わる担保を当方に納めなければならない。
10. 前金払・部分払は支払条件において「有」と提示した場合のみ支払を行う。
11. 設計、仕様書等の質問事項は、「入札説明書」第10項（仕様書等に関する質問）の記載に従い行うこと。
12. 入札をした者は、入札後、この入札心得書、入札説明書、仕様書、図面、契約約款、現場等についての不明を理由として異議を申し出ることはできない。
13. 入札に際し、市の指定した入札仕様書に基づき作成した工事費内訳書を提出する

こと。

14. 以上のほか、入札に関する法令等の定めるところに従わなければならない。